

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

Advanced URL Filtering カテゴリ「Compromised-website」追加のお知らせ

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用くださり誠にありがとうございます。この度、Palo Alto Networks 社より、Advanced URL Filtering カテゴリリストへの「Compromised-website」追加についてアナウンスされましたので、以下の通りご連絡いたします。

1. 概要

2025年1月2日(PST)にリリースされたコンテンツバージョン 8930 以降を適用すると Advanced URL Filtering カテゴリリストへ「Compromised-website」が追加されます。当該カテゴリに分類される URL は 2025年4月2日(PST)より公開されています。

2. 対象のお客様

コンテンツバージョン 8930 以降で Advanced URL Filtering をご利用のお客様。
※ 全ての PAN-OS バージョンが対象です。

3. 「Compromised-website」カテゴリアクションについて

当該カテゴリの推奨アクションは「block」となります。

「Compromised-website」の追加後、default プロファイルに対してのみ「block」が選択された状態となりますが、**URL Filtering プロファイルを別途作成している場合の既存プロファイルには「allow」が選択された状態で設定がされます。そのため事前にそれらのプロファイル毎に当該カテゴリのアクションを「block」に変更する必要があります。**

カテゴリアクションの変更手順につきましては次項目をご参照ください。

※ 新規プロファイル作成時も同様に「allow」が選択された状態となります。

4. URL Filtering カテゴリアクションの変更手順

以下手順にて URL Filtering カテゴリのアクションを変更できます。

- ① WebUI にログイン。
- ② OBJECTS > セキュリティプロファイル > URL フィルタリングへ遷移。
- ③ 「Compromised-website」カテゴリのアクションを変更したい URL フィルタリングプロファイルを選択。
- ④ カテゴリタブの検索欄にて「Compromised-website」を検索。
「Compromised-website」カテゴリが表示されます。
- ⑤ 当該カテゴリのサイトアクセス、ユーザー証明書送信欄をプルダウンにて「block」に変更。
- ⑥ OK を押下。
- ⑦ Commit を実行。

以上